

令和5年度 人権教育推進計画書

羽曳野市立高鷲南幼稚園

園長 榎矢 和代

1. 令和4年度総括

◎成果

今年度の重点課題とされる「てとてをつないで」を意識しながら、いろいろな取り組みについて考えた。コロナ禍でも出来ることを教職員でしっかり考え、少しでも他学年の園児同士のかかわりが広がるようにと機会を見つけるようにした。

ごっこ遊びでは、まずクラスで「何のメニューを作ろうか？」など皆で話し合いながら遊びを進めていった。店員や客になりきって「いらっしゃいませ～！」「どれにしますか？」「これ1つください！」などのやりとりがみられた。次に、他学年のクラスのお店屋さん遊びに行ったり、来てもらったり交流を行ってきた。すると、3歳児は4歳児5歳児に優しくしてもらったり、かっこいい店員の姿を見たりして、“優しさ”や“憧れ”の気持ちを抱くようになった。

また、参観では保護者にも遊びに来てもらい、店員を頑張っている姿を褒めてもらったりして自信をもったり、一緒にお店に回りたいという気持ちをもったりして、人と関わる心地よさ、楽しさを感じているようだった。

また、昨年度は久しぶりに中学校との交流を行い、優しく接してもらうことで、ますますお兄ちゃんお姉ちゃんへの憧れが強くなった。未就園児教室では、年上に優しくしてもらった経験から、年下の友だちに優しくする姿が見られた。

◎課題

いろいろな人と関わることで、優しい気持ちや、年上に憧れを抱くようになった。今後はさらに、さまざまな方と交流をできるように取り組んでいきたい。

2. 令和5年度 人権教育推進の基本方針及び重点課題

◎基本方針

「自分が好き・友達が好き・みんなが好き ～人のぬくもりを感じながら～」
— 幼小中の接続を意識した教育課程の編成を通して —

◎重点課題

☆一人ひとりを大切にする

- ・一人ひとりの子どもの発達をふまえる
- ・子どもの個性を生かす
- ・子どもの育つ権利を保障する

☆生きる力を保障する

- ・主体的に課題を解決し、生活する力の育成を図る
- ・互いの良さや違いを認め合い、生活する力の育成を図る
- ・人権意識の育成を図る

☆家庭と幼稚園が連携する

- ・家庭とのより確かなつながりの場づくりに努める
- ・子育ての楽しさ・大切さを共に学び合える場づくりを考える
- ・子どもの育ちを喜び合える関係作りに努める

☆中学校区幼小中合同会議での交流や学びをさらに深める

3. 具体的実践計画

	月	研修計画（テーマ・手法・講師等）	備考
1 学 期	4	家庭訪問からの幼児・保護者の実態把握・中学校区会議	
	5	地域の情報収集・中学校区会議	
	6	基本的な生活習慣の見直し・更生保護女性会との交流 未就園児との交流・中学校区公開授業と会議	
	7	個人懇談・更生保護女性会との交流・小学校との交流 一学期の反省と二学期に向けて・中学校区会議	

2 学期	9	幼児一人ひとりの変容と課題について・中学校区会議	
	10	未就園児との交流・幼児の変容について 中学校区公開授業と会議	
	11	他園交流（ようちえんまつり）・更生保護女性会との交流 高齢者交流・中学校区会議	
	12	個人懇談・小学校との交流・二学期の反省と三学期に向けて 中学校区会議	
3 学期	1	子ども一人ひとりの課題について・更生保護女性会との交流 中学校区会議	
	2	就学・進級に向けての生活習慣の点検と見直し 中学校区会議	
	3	年間の反省とまとめ・小学校との連携・中学校区会議	

※合同研修等の場合は、備考欄に「中学校区幼小中合同」等を明記してください。

		3歳児③	4歳児④	5歳児⑤
		子どもの姿	人権教育の視点から育てたいもの	
1 学期	○教職員や友だちと遊ぶ ・好きな遊び、仲よし遊び 異年齢での遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・園の生活やきまりを知る ③④ ・教職員や友だちに親しみをもって遊ぶ ③④⑤ ・基本的な生活習慣を身につける ③④⑤ ・年長児としての自覚をもち、年少児に優しく接する⑤ ・いろいろな遊びを楽しみながら、安全な遊び方を知る ③④⑤ ・いろいろな場面で相手の話を聞くことを通して、受け入れることや伝え合うことを身につける ⑤ 		
	○身近な自然に触れて遊ぶ ・栽培物に触れる ・草花、虫と遊ぶ ・種まき、苗植えをする	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生き物、栽培物に親しみをもつ ③④ ・栽培物の様子に興味や関心を高める ⑤ ・触れて遊ぶうちに、興味や関心が高まり、思いやりの心が芽生える ④ ・世話をすることの必要性を感じ、自分も他者も生きていることに気づき、生命の大切さを知る ⑤ 		
	○園外散歩	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住む地域を知る ③④⑤ 		
	○夏の遊びをする ・砂、土、水で遊ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと遊ぶ楽しさを知り、力いっぱい遊ぶ③④ ・水遊びを通して解放感を味わうと共に、身の回りの安全に気付く ③④⑤ 		
	○夏野菜の世話・収穫をする	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な栽培物に親しみをもつ ③④ ・季節の野菜を知り、育てる難しさを感じ、収穫の喜びを味わう ⑤ 		

4. 具体的実践計

<p style="text-align: center;">2 学 期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かして遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・運動遊び、縄、ボール等 ○友だちと共通の目的をもって遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ○自然に親しんで遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・落ち葉や木の実で遊ぶ ・園外で遊ぶ ○小学校・中学校・地域との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を使ってあそぶことを喜ぶ ③ ・多くの人との交流を深め、一緒に遊びを楽しむ中で、人とのかかわり方を知る ④ ・園の友だち、他園の友だちなど、多くの幼児たちがふれあう場を通して、互いの良さや違いに気づいていく ⑤ ・友だちの良さや違いに気づいていく ③④ ・共通の目的に向かって、力を合わせる喜びを知る④ ・実体験を通して充実感・達成感を味わうとともに、集団の中で培われる判断力・道徳性を徐々に養っていく ⑤ ・自然の美しさ・不思議さに気づき、豊かな心を育てる ③④⑤ ・小・中学校の教職員や友だちとふれあい、他集団で遊ぶ楽しさを味わい、年齢の違ういろいろな人に親しみを持ち、優しさに気づく ③④⑤ ・いろいろな人々に親しみをもって接し、優しくしてもらった体験から、人にも優しくしようとする ⑤
<p style="text-align: center;">3 学 期</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちと意欲的に遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・冬の遊び ・伝承的な遊び ・集団遊び ・生活発表会 ○地域との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・お別れ会 ・給食体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びを通して、ルールを守って遊ぶ楽しさを味わう ③④⑤ ・自分の思いを表現し、友達と力を合わせる喜びを味わう ④ ・自分の考えを伝え、友だちの思いを大切にしながら、心を通わせて遊びを進める楽しさを味わう ⑤ ・自信をもって自分の思いを表現し、友だちと力を合わせる喜びを味わう ⑤ ・一緒に生活した友だちやお世話になった人たちに感謝の気持ちを持ち、進級する喜びや期待をもつ③④ ・小学校連携を通して、就学へのあこがれの気持ちをもつ ⑤ ・一緒に生活した友だちや、お世話になった人たちに感謝の気持ちを持ち、就学する喜びや期待をもつ ⑤

※取組みにあたり、手法や視聴覚教材、使用教材等をご記入ください。

記入例：教科書＝（教・国）、にんげん＝（に）、府教委等資料＝（府資）、その他＝（教材名）

記入例：ワークショップ＝（WS）、フィールドワーク＝（FW）、視聴覚教材＝（視聴）